

企画展

ニセコ・有島記念館移動パネル展

ありしまたけお

有島武郎展

小説家・有島武郎の生涯や北海道での足跡について解説した
パネルを展示し、多様な顔——小説家、思想家、美術家、
不在地主——を紹介します。



有島武郎は1878(明治11)年に東京で生まれ、札幌農学校へ進学しました。卒業後はキリスト教信仰を深めるためにアメリカに留学、帰国後は東北帝国大学農科大学(現・北海道大学)教官となり、美術活動や貧困者への教育活動に携わります。その後、父が拓いたニセコの農場を譲り受けた有島は、雑誌『白樺』の同人として作品を発表し始めます。父と妻が没したことが契機となり、執筆活動に注力して「カインの末裔」で大正文壇に作家としての地位を確立しました。

2022年 1月29日(土) ~ 4月24日(日)

釧路文学館(釧路市中央図書館6階)

〒085-0015 釧路市北大通10丁目2番1号 TEL.0154-64-1740

開館時間:9:30~19:30

休館日:毎週月曜(祝日除く)、館内整理日(毎月最終金曜日)

年末年始(12月29日~1月3日)

共催:ニセコ・有島記念館

釧路文学館

Kushiro Museum of Literature

入館
無料

文学館の情報はこちらから
もご覧いただけます



【作家としての有島、そして周囲の人々】

有島が作家としての地位を確立した頃、岩内町で漁師をしていたのちの画家・木田金次郎（1893-1962）と再会します。代表作の一つである「生れ出づる悩み」は、この出来事をきっかけに誕生しました。さらに大正期のベストセラー作家として「小さき者へ」「或る女」「一房の葡萄」など、現代に語り継がれる作品を発表します。しかし、1923（大正12）年に雑誌記者と情死しました。

有島家は武郎をはじめ、芸術分野に優れた人物を輩出しています。弟の壬生馬は洋画家・小説家の有島生馬（1882-1974）、弟の英夫は小説家・里見淳（1888-1983）として活躍しました。大正時代に新進作家としてデビューした釧路出身の中戸川吉二（1896-1942）は里見に兄事していました。武郎の長男・行光は森雅之（1911-1973）の名で1950年代から60年代の日本映画界の数々の名作に出演し、釧路出身の原田康子原作の映画「挽歌」での好演は今も人々の胸に刻み込まれています。

■関連イベント

<p>2月6日(日)</p> <p>13:30~15:00</p>		<p>釧路高専公開講座「有島武郎と木田金次郎」 共催：釧路工業高等専門学校</p> <p>有島武郎と「生れ出づる悩み」のモデルとなった画家・木田金次郎の交流について解説します。 講師：小田島本有（釧路工業高等専門学校教授・文学研究者） 【所】 7F 多目的ホール【定員】 50名 【申】 文学館または高専（57-7216）へ</p>
<p>2月27日(日)</p> <p>13:00~13:30</p>		<p>マンスリー朗読会</p> <p>作品：有島武郎の作品 朗読：演劇集団ウポポ（釧路演劇協議会） 【所】 7F 多目的ホール【定員】 50名【申】 文学館</p>
<p>3月20日(日)</p> <p>13:30~15:00</p>		<p>有島記念館出張講座「有島武郎と北海道、そして有島記念館」</p> <p>有島武郎と北海道の関わりやニセコ・有島記念館の活動を紹介します。 講師：伊藤大介（有島記念館主任学芸員） 【所】 7F 多目的ホール【定員】 50名【申】 文学館</p>
<p>3月27日(日)</p> <p>13:00~15:00</p>		<p>ジスイズ朗読会 × くしろ読書会 有島武郎「生れ出づる悩み」を読む</p> <p>『生れ出づる悩み』の朗読会と公開読書会を組み合わせたイベント。公開読書会では出演者が作品の感想や意見を語り合います。 第一部（13:00~13:30）マンスリー朗読会 朗読：ジスイズ朗読会 相田美樹雄 第二部（13:30~15:00）公開読書会 出演：くしろ読書会 高藤浩一、須藤弘美 解説：小田島本有 司会：岸本真希人 【所】 7F 多目的ホール【定員】 50名【申】 文学館</p>

※新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載イベントが変更になる場合がございます。ご了承ください。



交通のアクセス

JR釧路駅から徒歩8分
 くしろバス「北陸銀行」「中央図書館・道銀前」停留所下車
 タクシー：釧路駅より3分
 駐車場：図書館利用者専用駐車場（無料70台）

釧路文学館

Kushiro Museum of Literature
 〒085-0015 釧路市北大通10丁目2番1号
 釧路市中央図書館6F
 TEL.0154-64-1740 FAX.0154-64-1741